

令和元年度第1回下田地区協議会 会議録（概要）

●会議を開催した日時及び場所

日 時 令和元年6月7日（金） 午前9時55分～午前11時40分
場 所 三条市役所下田庁舎 3階 301会議室

●出席委員(◎会長、○副会長)

渡辺 定一	小浦方正美	坂井 利彦	○齋藤 信一
◎清水 昭	五十嵐愛子	栃原 郁	山田 宏高
近藤喜美子	近藤 昌志	山屋 祐介	(11名)

(欠席委員)

西潟 芳博	藤田五十一	名古屋利夫	(3名)
-------	-------	-------	------

●出席者

副市長 若山 裕 総務部長 駒形 一興 市民部長 渡辺 健
政策推進課長 平岡 義規 地域経営課長 山村 吉治
下田サービスセンター長 長谷川考基
(政策推進課) 主事 織原 勇人
(地域経営課) 課長補佐 新田 泰章
(下田サービスセンター) 総務グループ長 太田 正栄 主事 長谷川祐二

●傍聴者

なし

●報道機関

三條新聞社

●内 容

1 開 会 (9:55 開会)

2 委嘱状交付(副市長交付)

3 市長挨拶(副市長挨拶)

4 出席者紹介

5 議 事

(1) 会長及び副会長の選出について

会長に清水昭委員、副会長に齋藤信一委員を選出

(2) 行政評価に基づく平成30年度事後評価について

(政策推進課長 説明)

資料 No. 1-1、No. 1-2 及び No. 1-5 により行政評価に基づく平成30年度事後評価について説明

～質疑～

(山田委員)

小項目13の評価がCとされているが、粟ヶ岳スカイレースやあいさつ運動に参加している下田地域の生徒達の顔つきを見ると自己肯定感に溢れており、下田地域にこの評価は当てはまらないと思う。三条市全体の評価と捉えてよいか。また、下田地域のみ分析はあるのか。

(政策推進課長)

事後評価については三条市全体の評価である。下田地域の数値(評価)があるかについては確認して委員へお伝えする。

(近藤(昌)委員)

小項目1に関連して、県の財政専門家会議で県央基幹病院の建設について疑義があると報道されたが、それを受けて市の考えをお聞きしたい。また、県央基幹病院の計画が縮小又は変更になった場合、医療系の高等教育機関の計画にも変更が生じるのか。

(総務部長)

県の財政問題の有識者会議で、県央基幹病院について見直しも含め検討するよう県に提言されたことは承知しているが、提言は現状の県立病院の赤字問題から来ているものと捉えており、基幹病院の建設と同一の話題として捉えるべきではないと考えている。市としては、引き続き、県央基幹病院設置の必要性を訴えつつ、計画どおり進めていきたい。また、医療系の高等教育機関についても計画の変更はない。

(齋藤副会長)

救急車を呼んでも、現状では新潟市や長岡市の病院へ搬送されることが多いが、県は財政問題を理由として県央地域に基幹病院を設置することをやめようとしているように思う。基幹病院の設置については県知事からの回答待ちなのか、それとも市から何か積極的な行動をとるのか。

(総務部長)

県も県央地域の医療状況を充分承知しているはずで、これまで市は県央地域を挙げて県へ要望活動を実施し、県を動かして、その結果県が県央基幹病院の設置を計画するに至った。今後も県の方針が変わらないよう取り組んでいく。

(3) 辺地総合整備計画について

(地域経営課長 説明)

資料 No. 2 により辺地総合整備計画について説明

～質疑～

(山屋委員)

過去に配布された資料と比較すると、笠堀辺地と中浦辺地が平成26年度と比べて辺地度点数が上がっている(笠堀辺地128点→159点、中浦辺地144点→174点)。特に笠堀辺地の点数が上がっているようだが、その理由は何か。

また、過去に曲谷、五百川及び大沢で辺地計画が策定されインフラ整備等されたが、辺地度点数の傾向をみるとそうした地域も再び辺地債の対象地域となるのではないか。

(地域経営課長)

笠堀辺地については、平成28年度に渡辺医院がなくなったことや平成30年度に市の固定資産税の評価替えがあったことなどで点数が増高したものと考えられる。今後、三条市ただ郷クリニックが開院すれば辺地度点数も改善すると考えている。

(山田委員)

中浦森林公園で音楽イベントが開催されているが、運営団体がアルコールの販売を独占するなど、閉鎖的なところがある。地域の祭りのようにオープンな実行委員会を立ち上げて運営したほうが良いのではないか。

(市民部長)

楽音祭については市内外からなる実行委員会を立ち上げて、若者と地域住民が

触れ合い、地域と一体になって盛り上げられるイベントとすべく努めている。また、楽音祭の出演者や出店者からは確約書を取り、健全なイベント運営を心がけているところだが、指摘の点については所管の生涯学習課へ伝える。

(4) その他

(坂井委員)

下田地域の学校関係のエアコン設置率はどのくらいか。また、今後の設置予定はどうか。

あわせて、令和2年4月から消防団の組織機構の見直しが図られる予定だが、牛野尾谷5集落、長野、八木前、庭月等のポンプ小屋は早水にあるよってげ邸に建てるということで間違いないか。また、いつ頃どのような規模で建てられるのか。

(政策推進課長)

学校のエアコン設置率については、資料がなく詳細はお答えできないが、去年の猛暑を受けて、国が全国的に学校にエアコンを設置する措置を進めてきた。その結果として、市では各学校の普通教室に計画的にエアコンを設置するよう進めている。

よってげ邸のポンプ小屋の件については、消防本部に確認し委員へ伝える。

(山屋委員)

下田地区協議会の公募に最近応募者がないと聞く。下田地域に関する重要な会議であるので、公募のPRにもっと力を入れていただきたい。

(政策推進課長)

本会議については毎回資料や会議録を市のホームページに掲載し、PRしているところだが、委員指摘の趣旨に留意し、今後効果的なPR方法を研究していきたい。

(近藤(昌)委員)

八十里越があと4、5年で開通するだろうという話を只見町との懇談会等で聞いているが、下田地域が福島県から新潟県への玄関口となるので、ただの通過点とならないように、人の流れを滞留させる複合的な施設等を考えてもらいたい。

(渡辺委員)

下田商工会としても、八十里越開通を見据えて、昨年度から研修会を開催し、今年度実地での取組を進めている。また、下田商工会の理事会で大浦地区に住宅団地を造成することも提案している。

(山田委員)

八十里越が開通すると福島県側からの道路利用者が増えることが想定されるため、地域活性化の視点からも下田地域の道路で渋滞が起こらないよう道路整備をお願いしたい。

(清水会長)

八十里越に係る意見がいくつか出たが、要望として留意しておいてもらいたい。

4 閉 会 (11:40 閉会)